

(10) 対年ら 象標の 基準検 準価討 地格 の等 前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 251,000 円 / m <sup>2</sup> - 2 基準地が共通地点 (代表標準地等と同一地点) である場合の検討 代表標準地 標準地 標準地番号 - 公示価格 円 / m <sup>2</sup>				価 格 変 動 状 況 要 因 の	( 一般的 要 因 )  ( 地 域 要 因 )  ( 個別的 要 因 )	景気は緩やかに回復しているが不透明感がみられる。設備投資は持ち直しの動きがみられ、住宅建設はおおむね横ばいとなっている。  最寄駅から徒歩圏内の一般住宅、アパートが見られる低層住宅地で地価は上昇傾向にある。その他、特に地域要因の変動はない。  個別的要因に変動はない。	
	変動率	年間	+3.6 %	半年間				%